

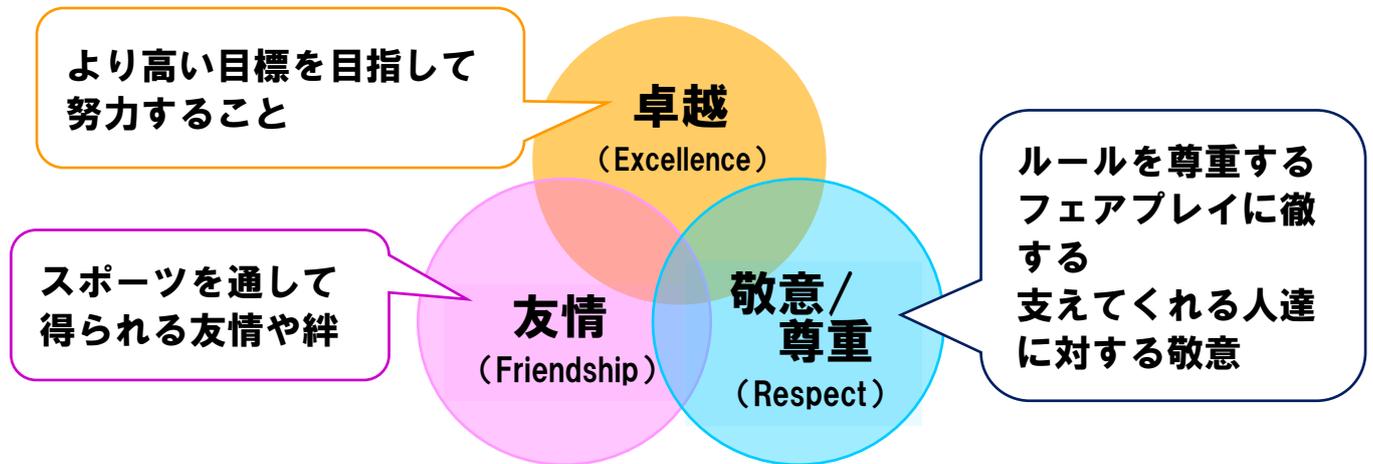
冬季オリンピック開催中

現在、2022冬季北京オリンピックが開催中です。今年度は、コロナ禍が影響して、夏の東京オリンピック2020に続き冬の北京オリンピック2022と、1年度中に2度もオリンピックを觀賞する機会ができました。競技に参加している選手の姿から、子どもたちはどんなことを感じているのでしょうか。

《オリンピック教育》オリンピズム（オリンピックの理念）とは

オリンピズムとは、スポーツによって心身ともに調和のとれた人間を育て、そのような選手たちが4年に一度世界中から集まり、フェアに競技し、異文化を理解しながら友情を育むことによって、平和な社会を実現しようという考え方のことです。（近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタン）

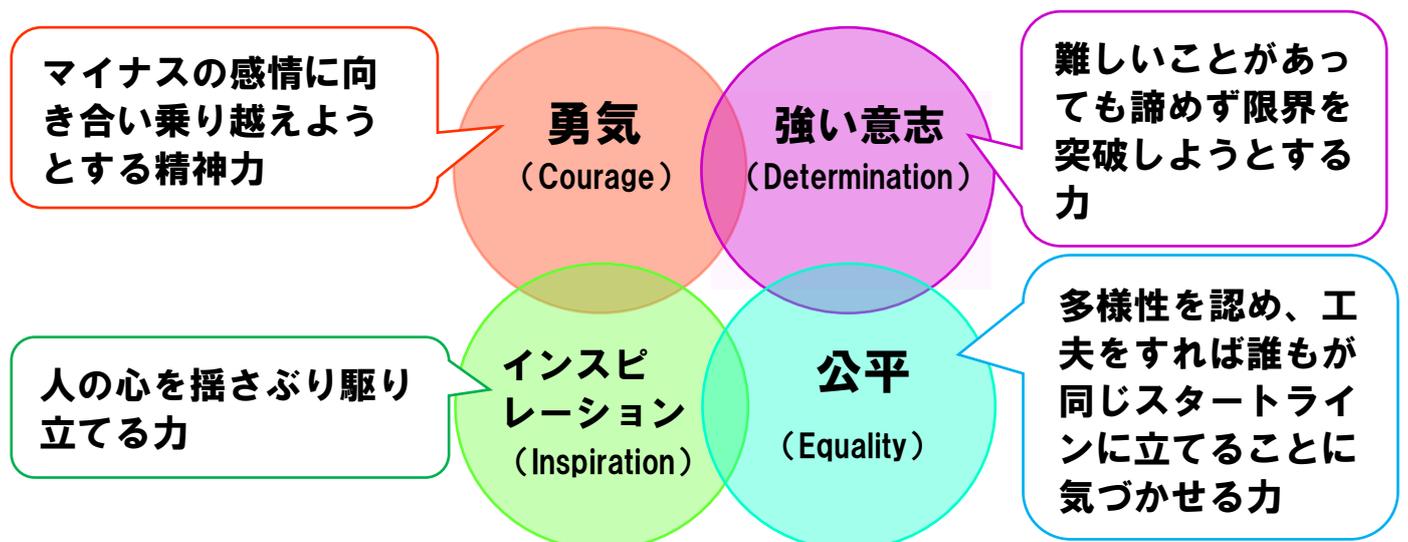
オリンピックの中心的な3つの価値（IOCより）



《パラリンピック教育》パラリンピックの理念

パラリンピックの理念とは、スポーツを通じ、障がいのある人にとってよりよい共生社会を実現しようとする考えのことです。（国際パラリンピック委員会〔IPC〕）

パラリンピックの4つの価値（IPCより）



オリンピックやパラリンピックを通して、それぞれの理念が、子どもたちの生活や生き方に生かされるとうれいしいです。子どもたちの生活の中で、スポーツを通して、自分の目標やチームの目標に向かって努力することや仲間と共に頑張る中で得られる友情や絆、そして、ルールを守ることの大切さや自分たちを支えてくれる人たちに対して感謝の気持ちを持つことは自然と経験してきていることと思います。オリンピックを通して、勝ち負けだけではなく、選手や選手を支えている人たちの心情を考えながら鑑賞できるとうれいしいです。

3年生がアイマスク体験をしました

2月10日（木）に、3年生が、福祉学習の一環として、アイマスク体験をしました。事前に、目の不自由な方のサポートの仕方を調べ、実際にどのようにサポートをするとよいかを実践してみました。サポートする側になったり、サポートされる側になったりして、それぞれの立場を体験しました。



3年生の子どもたちは、アイマスクをして周りが見えないことで大変不安を感じていました。実際に「こわいなあ。」と口にする児童もいました。玄関から体育館まで目の不自由な人を案内する時（段差があったり、車が通る危険な場所があったりする所を案内する時）の案内の仕方を練習しました。

2年生：サッカーボールを使って



寒さに負けず、外で元気に体を動かしています。2年生の体育の学習では、サッカーボールを使ってドリブルの練習をしています。

縄跳びの練習も頑張っています。